

# 道徳通信

No.9 2022年(令和4年)7月25日(月)



学習日：7月21日(木) 内容：「心に寄りそう」

看護師になりたてのころ、中々自分の思いが患者さんに伝わらず悩んでいた山田さんは、ある女性の患者さんから「相手の心に寄りそうことの大切さ」を学び、しっかり目線を合わせてあいさつすることなど細やかな心配りをするようになる。その山田さんの姿を通して、相手の立場を尊重し、互いに助け合い支え合うことの大切さを理解し、誰に対しても思いやりの心を大切にして接することの大切さについて考えたい。

## 【生徒の考え】 授業後に考えたこと、感じたこと

上から目線ではなく、相手の目線に合わせて、心も合わせて、しっかり気持ちを考えることが大切だと思った。

相手の目を見て話したり、相手の気持ちを考えて発言したり、相手に合わせたりと相手のことを常に考えていきたい。

誰にでもやさしくして、相手が自分の心を開きやすいようにしていきたい。また、心からあいさつを交わして、相手の心に寄りそっていきたい。

思いやりを持って相手が嫌がりそうなことは言わずに、勇気づけるような声かけや前向きになれるように声をかけていくことが大切だと感じた。

自己中にならず、相手の気持ちになって考えてみる。相手の心を理解して尊重することが大切だと思った。

自分は友達と話すときとか、自分の話ばかりしてしまうが、相手も話したいこともあるだろうし、気持ちが沈んでいる時には何も言いたくないだろうから、その辺を考えていきたい。

午後の学活で行われている1日1人の「2分間スピーチ」はクラスみんなの前で話すので、緊張しますよね。きっと「何を話そうか」と悩んでいることでしょう。しかし、今回の道徳を応用して、相手に伝わるスピーチを意識してみませんか。自分が話したい内容も大事ですが、それが相手に伝わったかが重要です。相手の目線に立ったスピーチに取り組んでみて下さい。